

# 磐城春秋

號二十四第

行發 城 市 平  
社 秋 春 城 磐  
八 町 四 路 街 高  
八 番 八 行 水 印  
水 所 版 活 平  
所 (行發 曜 土 週 每)  
【錢十五部一價定】

## 教組要求を廻る座談會

### 要求七項目は是か非か

#### 街頭宣傳や父兄の態度は

教員組合全國聯盟の要求が妥當であるかどうか、教員組合の要求貫徹運動の手段としての街頭宣傳、父兄の支援態度はどうか。廿七日夜、大森勇氏宅で市内有志内木宗八、大内近雄、長島菊苗、吉田喜代治、渡邊久、大野友春、大嶺庫、高瀬勝男、大森勇の諸氏が集り、それに就ての座談會を催した。司會は大森氏(高木)

### 要求を衝く

司會者「最初に要求の七項目に就いて妥當かどうかを決定してゆきたい。」  
△「七項目とは、最低六百萬の支給、地方差の撤廃、男女差別撤廃、職首反對、勤務地手当家族手当の増額、所得税免除、点引上、教育予算引上、勤勞條件の改善であつてこの中一番中心となるのは一項の六百圓要求であらうと思ふ。二項以下は教育専門家の問題だ。」  
△「海外引揚者七十名の重労働に従事する者の三ヶ月間の平均食糧は充分たべて一人一日十五圓五十錢だ。これらの人達は一日卅五圓から四十圓の日給で廿二日間働けば平均七百圓の實収入でやつてゐる。この点で六百圓の要求は正しい。しかし引揚者の中には五人家族で二百五十圓の授養資金だけで生活してゐる者もある。役員は平均五百圓だ

給が二十圓も低いといふ。現在の物價から見れば六百圓の要求は不當でなく寧ろつよしい要求と認めて良い

### スト批判

司會者「六百圓要求はどの程度まで認められるか。だから次は闘争手段とスト執行に就いての批判を願ひます。」  
△「組合を作つて當局に要求する事は良いが街頭にポスターを張つたり、教壇を捨てて宣傳に奔走する態度は感心できない。醫者と看護婦と教員は相手が人間だからストはやるべきではない。私はストに絶対反對だ。」  
△「ストをやらないで要求を通すやうに我々が努力すべきで私はストをやらないで拘らざる教組の運動を支援する。」  
△「私はストに入つたならば退學させてしまふ。教員は生徒に對する心理的影響も考へて行動すべきだ。」  
△「保護者を強化して保護者が全要求を背負つて立つべきだ。保護者の立

上りはおそすぎた感がある。△「先生方はストを欲してゐない。ストは要求が通らなかつた場合の心がまへをいつてゐるのでゼネストで當局をおどかしてゐるのではない。我々はストに到らせぬやう教組の運動を後援支持すべきだ。」  
△「ストと要求は切りはなしては考へられぬ。要求を支持する以上ストも認めねばならぬ。」  
△「先生といふ立場と國家の現狀からストといふ名刀は抜くべきではない。」  
△「争議は火事と同じで自分に関係がないと對岸の火災視するが自分の利害に關係があると反對して騒ぐものだ。先生であれ醫者であれ要求することもストをやることが差支へない。」  
△「愛する組合運動であつてほしい輿論の支持を失ふやうでは失敗だ。相手は會社ではなく政府だ。」  
△「七十億の國債の利拂を棚上げすれば待遇改善費などは何でもない。要は足らざるにあらず均しからざるにあるのだ。」  
△「ストに突入しても先生方を信じて支援してゆきたい。」  
△「經濟的要求を超えて政治的要求となり思想的背景があるとなれば我々もこの運動に就いてもつと深刻に

### 週間録音

11月15日—25日  
◇縣議の定員増加 地方制度改訂に依る縣會議員の定数は現在の四十四名から五十九名に増加、石城郡は六名から八名となり平市の一名と合計九名が當地方から選出される事になる。追放の旋風の中に果して誰がその九名の新議員の椅子を得るかは興味ある問題だ。  
◇教員組合の動き 縣教員組合平支部は磐女に闘争本部を設け支部長新妻熊男氏を委員長として十五日保護會を求め十八日市内各所に宣傳ビラを張り街頭宣傳の活潑な活動に移つた。  
◇共産黨常務地區委員會 發展の解消して平、植田、勿來及び炭礦の三地區委員會に分れる事になり、十七日平地區委員會の結成大會を行つた。  
◇傳明氏縣スキ聯盟副會長に 十七日若松市に開かれた縣スキ聯盟で役員改選の結果泉村出身平市居住

### 人物 (33) 神谷兼次郎氏

神谷兼次郎氏は改めて説明を加へる迄もなく田町銀座の砂利屋だ。見るからに精悍の氣の充ち溢れてゐるやうな巨體に大きな目玉をきらきらとさせて自分の思つた事は遠慮なく行つて行く。口外はさつぱり行動に移す所に彼の本領がある。この馬車のやうに目的に向つて突入する態度こそ彼

の事業を成功に導いた所以であり昨春の第一回の戦災で紺屋町にあつた事務所が全焼して少なからぬ損害を受けたが彼一流の信念から泣きもせず何故とばかりに奮起して早速現在の事務所を復舊させ、神谷君は金銭に就いての公私の別が著しく厳格だといつてゐる程である。平商復興資金募集

北海道東北に跨つた。かうした彼の性格は世間の誤解を受ける行動にでも多く先般も平商後援會長として他の役員達と出陣した折坂で遊藝會開金を出したつた。その時神谷君も彼が洗つて見ると彼の氣風から私財を投じての先生方に對する御馳走だつたといふ事實が現れた。彼は酒はあまりやらずに服部校長などは「神谷君は金銭に就いての公私の別が著しく厳格だ」といつてゐる程である。平商復興資金募集

### 書籍

星製藥株式會社 福島工場 平市五丁目二八 電話 六六八番 三五三番  
鈴木醫院 平市銀治町 電話 四五二番  
酒井醫院 平市南町 電話 五五番  
大森醫院 平市南町 電話 二五八番  
渡邊醫院 平市八幡小路 電話 八一四番  
上田醫院 平市南町 電話 一一九番  
釜屋商店 平市五丁目 電話 九番九九番

日之磐炭礦委員會に於て協議した結果日破系は反對の意を表明したので常磐聯は日破系自治體位系の二つのことになつた

文 藝

投稿 歡迎  
可紙上匿名

晚秋の東京

濱崎 胖

三寒四温で、二三日暖い日であ  
る。真黒な空の星が、二ツ三ツ消  
え始める頃目を見まします。窓をあけ  
ると一面に立ちこめた霧が一杯  
に入り、肌を一入冷さを感ずる。  
吐く息が朝の目眩と神に感謝を  
机に向つて遙か兩脚と神に感謝を  
捧ぐ。今日の學業の予習に一通り  
目を通しながら、朝の服は今日  
二日の生活の精氣を一時に湧き  
出させて来る。東京生活にもな  
れぬ分りが出る。朝七時半出  
発。池袋の驛迄約二十分、散歩の  
つもりで歩く。前も後も人、人。  
出勤を急ぐ足、足。省線の困難は  
話にならない。上品に待つてを  
一時間待つても乗れない。連絡  
器に車外に、中は坐つてある人  
一人もなく叫び聲、泣き聲、全く  
死物狂の車中。時計のガラス、鏡  
カバンの中の鉛筆の折れるのは普  
通。新宿迄の十分で疲れた身体を  
新宿より學校前迄のバスの停留所  
へ。こゝは順天堂醫科と女子美術  
と女子専科の學生専用の如きもの  
なり。平々異なり五分おきのバス  
に坐る席がなくとも誰れも乗ら  
ず待つ。車は十五人平均に乗  
せて走る。自動車はこゝまで行つ  
ても四十秒なので極楽なり。八時半  
よりの授業も午前解散、午後帰還  
語等で毎日を通す。三分の一は缺  
席し午後は半分以下になる。先生  
によつて學生の出席率も異なる。  
國家試験をひかへて學生はし  
が皆熱心である。二時半終業

教育討論會

土曜は同郷の友と映画又は下宿で  
大いに議論を闘はす。學生の九割  
九分迄は洋書のみにて、批評會等  
を生徒間に開き、觀賞し教育され  
る。普通は下宿に於て三日に一度  
洗濯、かはげばつぎの飯仕度。  
全てのものから去つた東京の一人  
の生活。そして晩秋。遠く西の空  
々とした白雲等。そして又今日も  
かに暮れてゆく晩秋の東京

十一月の映畫

十二月三日「九月」これは失禮  
十日「十六日」格子なき牢獄  
十七日「廿三日」江戸子三太  
廿四日「廿七日」命ある限り  
以上世界館。聚樂館は  
三日「九日」最後の地獄船  
十日「十六日」山吹  
十七日「廿三日」阿修羅姫  
廿四日「卅一日」狸になつた和尚  
三日「九日」次郎吉原さんげ  
十日「十六日」わが戀せし女  
十七日「廿三日」銀名銀平  
廿四日「卅一日」愛より愛へ  
平館に洋書が一本もないのは些か

櫻丘チーム

復活第一回全國龍球選手権  
大會東北予選會は十二月十  
五、六日の兩日福島師範コ  
ートで行はれる。磐女OB  
同チームは全國大會に優勝  
した橋クラブに次ぐ全國的  
チームで目下猛練習を行つ  
てゐるからオールジャパン  
東京大會での優勝候補とさ  
れてゐる。一般市民の絶大  
なる御聲援を乞ふ(永野)

寄贈雑誌紹介

★ロゴス 第六號 目的論  
的世界觀に就いて(中村月  
城) 未亡人への手紙(中濱  
軍治) ゲーテに於ける戀愛  
世界評論社

就職案内

平働所署より  
▼女中一名 十六、二十歳 國  
月五、十歳 横越小路阿部政衛門  
▲夫男八十名 不問 二十五  
三十歳位 七、三時半 電氣修  
接工十五名 經驗工、副負制 五  
百圓位 ▼ガス格接工十五名  
職男三十名 經驗工、配管工  
三十名 至急 ▼銀治工男十名  
通勤者二名 小名濱町西町三十  
七、金子健  
▼女工五名 十八、四十歳  
▼女工五名 十六、四十歳 國  
卒 通勤 給面談 通勤手当サ  
給ス、赤井藤前、餘城シヤモツ  
▼女工二十名 通勤 通勤者十名  
平市堂、新、大阪造船

新刊紹介

「東京ロマンス」  
E・ホプワイト著  
UP特派員として著名なアーン  
ト・ホプワイト氏の新作小説で  
あり、戦後の日本を舞台に外國人  
によつて書かれた小説としては最  
初のものである。氏は本年廿九歳  
の獨身青年である。ケム島から  
日本へ一校の日本記者の胸の  
プロバインドが報章記者の胸の  
結ぶ戀の直線に至るスリルミロ  
ンス。國際結婚への倫理と道徳と  
が糾纏に浮彫りされてゐる  
(B6二九頁、十八圓、初版  
ヤマト社)

資本金入門

河上肇著  
故河上肇博士の遺著の貴重な一  
である。巻頭の序文に「この著書  
は私が公にして来た最後のもので  
あり、又半生にわたる研究の結果を  
集めたものである。昭和七年十一月  
に私は已に日本共産黨員として地  
下に潜伏してゐたのであるから、  
是は私が意を決して黨員になり得  
た時の思想上の姿とも云へる」と  
記されてゐる。資本論を學べん  
とする人々の必讀の入門書  
(B6二九頁、十八圓、初版  
世界評論社)

就職案内

平働所署より  
▼女中一名 十六、二十歳 國  
月五、十歳 横越小路阿部政衛門  
▲夫男八十名 不問 二十五  
三十歳位 七、三時半 電氣修  
接工十五名 經驗工、副負制 五  
百圓位 ▼ガス格接工十五名  
職男三十名 經驗工、配管工  
三十名 至急 ▼銀治工男十名  
通勤者二名 小名濱町西町三十  
七、金子健  
▼女工五名 十八、四十歳  
▼女工五名 十六、四十歳 國  
卒 通勤 給面談 通勤手当サ  
給ス、赤井藤前、餘城シヤモツ  
▼女工二十名 通勤 通勤者十名  
平市堂、新、大阪造船

新刊紹介

「東京ロマンス」  
E・ホプワイト著  
UP特派員として著名なアーン  
ト・ホプワイト氏の新作小説で  
あり、戦後の日本を舞台に外國人  
によつて書かれた小説としては最  
初のものである。氏は本年廿九歳  
の獨身青年である。ケム島から  
日本へ一校の日本記者の胸の  
プロバインドが報章記者の胸の  
結ぶ戀の直線に至るスリルミロ  
ンス。國際結婚への倫理と道徳と  
が糾纏に浮彫りされてゐる  
(B6二九頁、十八圓、初版  
ヤマト社)

資本金入門

河上肇著  
故河上肇博士の遺著の貴重な一  
である。巻頭の序文に「この著書  
は私が公にして来た最後のもので  
あり、又半生にわたる研究の結果を  
集めたものである。昭和七年十一月  
に私は已に日本共産黨員として地  
下に潜伏してゐたのであるから、  
是は私が意を決して黨員になり得  
た時の思想上の姿とも云へる」と  
記されてゐる。資本論を學べん  
とする人々の必讀の入門書  
(B6二九頁、十八圓、初版  
世界評論社)

就職案内

平働所署より  
▼女中一名 十六、二十歳 國  
月五、十歳 横越小路阿部政衛門  
▲夫男八十名 不問 二十五  
三十歳位 七、三時半 電氣修  
接工十五名 經驗工、副負制 五  
百圓位 ▼ガス格接工十五名  
職男三十名 經驗工、配管工  
三十名 至急 ▼銀治工男十名  
通勤者二名 小名濱町西町三十  
七、金子健  
▼女工五名 十八、四十歳  
▼女工五名 十六、四十歳 國  
卒 通勤 給面談 通勤手当サ  
給ス、赤井藤前、餘城シヤモツ  
▼女工二十名 通勤 通勤者十名  
平市堂、新、大阪造船

新刊紹介

「東京ロマンス」  
E・ホプワイト著  
UP特派員として著名なアーン  
ト・ホプワイト氏の新作小説で  
あり、戦後の日本を舞台に外國人  
によつて書かれた小説としては最  
初のものである。氏は本年廿九歳  
の獨身青年である。ケム島から  
日本へ一校の日本記者の胸の  
プロバインドが報章記者の胸の  
結ぶ戀の直線に至るスリルミロ  
ンス。國際結婚への倫理と道徳と  
が糾纏に浮彫りされてゐる  
(B6二九頁、十八圓、初版  
ヤマト社)

資本金入門

河上肇著  
故河上肇博士の遺著の貴重な一  
である。巻頭の序文に「この著書  
は私が公にして来た最後のもので  
あり、又半生にわたる研究の結果を  
集めたものである。昭和七年十一月  
に私は已に日本共産黨員として地  
下に潜伏してゐたのであるから、  
是は私が意を決して黨員になり得  
た時の思想上の姿とも云へる」と  
記されてゐる。資本論を學べん  
とする人々の必讀の入門書  
(B6二九頁、十八圓、初版  
世界評論社)

就職案内

平働所署より  
▼女中一名 十六、二十歳 國  
月五、十歳 横越小路阿部政衛門  
▲夫男八十名 不問 二十五  
三十歳位 七、三時半 電氣修  
接工十五名 經驗工、副負制 五  
百圓位 ▼ガス格接工十五名  
職男三十名 經驗工、配管工  
三十名 至急 ▼銀治工男十名  
通勤者二名 小名濱町西町三十  
七、金子健  
▼女工五名 十八、四十歳  
▼女工五名 十六、四十歳 國  
卒 通勤 給面談 通勤手当サ  
給ス、赤井藤前、餘城シヤモツ  
▼女工二十名 通勤 通勤者十名  
平市堂、新、大阪造船

新刊紹介

「東京ロマンス」  
E・ホプワイト著  
UP特派員として著名なアーン  
ト・ホプワイト氏の新作小説で  
あり、戦後の日本を舞台に外國人  
によつて書かれた小説としては最  
初のものである。氏は本年廿九歳  
の獨身青年である。ケム島から  
日本へ一校の日本記者の胸の  
プロバインドが報章記者の胸の  
結ぶ戀の直線に至るスリルミロ  
ンス。國際結婚への倫理と道徳と  
が糾纏に浮彫りされてゐる  
(B6二九頁、十八圓、初版  
ヤマト社)

資本金入門

河上肇著  
故河上肇博士の遺著の貴重な一  
である。巻頭の序文に「この著書  
は私が公にして来た最後のもので  
あり、又半生にわたる研究の結果を  
集めたものである。昭和七年十一月  
に私は已に日本共産黨員として地  
下に潜伏してゐたのであるから、  
是は私が意を決して黨員になり得  
た時の思想上の姿とも云へる」と  
記されてゐる。資本論を學べん  
とする人々の必讀の入門書  
(B6二九頁、十八圓、初版  
世界評論社)

就職案内

平働所署より  
▼女中一名 十六、二十歳 國  
月五、十歳 横越小路阿部政衛門  
▲夫男八十名 不問 二十五  
三十歳位 七、三時半 電氣修  
接工十五名 經驗工、副負制 五  
百圓位 ▼ガス格接工十五名  
職男三十名 經驗工、配管工  
三十名 至急 ▼銀治工男十名  
通勤者二名 小名濱町西町三十  
七、金子健  
▼女工五名 十八、四十歳  
▼女工五名 十六、四十歳 國  
卒 通勤 給面談 通勤手当サ  
給ス、赤井藤前、餘城シヤモツ  
▼女工二十名 通勤 通勤者十名  
平市堂、新、大阪造船

新刊紹介

「東京ロマンス」  
E・ホプワイト著  
UP特派員として著名なアーン  
ト・ホプワイト氏の新作小説で  
あり、戦後の日本を舞台に外國人  
によつて書かれた小説としては最  
初のものである。氏は本年廿九歳  
の獨身青年である。ケム島から  
日本へ一校の日本記者の胸の  
プロバインドが報章記者の胸の  
結ぶ戀の直線に至るスリルミロ  
ンス。國際結婚への倫理と道徳と  
が糾纏に浮彫りされてゐる  
(B6二九頁、十八圓、初版  
ヤマト社)

資本金入門

河上肇著  
故河上肇博士の遺著の貴重な一  
である。巻頭の序文に「この著書  
は私が公にして来た最後のもので  
あり、又半生にわたる研究の結果を  
集めたものである。昭和七年十一月  
に私は已に日本共産黨員として地  
下に潜伏してゐたのであるから、  
是は私が意を決して黨員になり得  
た時の思想上の姿とも云へる」と  
記されてゐる。資本論を學べん  
とする人々の必讀の入門書  
(B6二九頁、十八圓、初版  
世界評論社)

就職案内

平働所署より  
▼女中一名 十六、二十歳 國  
月五、十歳 横越小路阿部政衛門  
▲夫男八十名 不問 二十五  
三十歳位 七、三時半 電氣修  
接工十五名 經驗工、副負制 五  
百圓位 ▼ガス格接工十五名  
職男三十名 經驗工、配管工  
三十名 至急 ▼銀治工男十名  
通勤者二名 小名濱町西町三十  
七、金子健  
▼女工五名 十八、四十歳  
▼女工五名 十六、四十歳 國  
卒 通勤 給面談 通勤手当サ  
給ス、赤井藤前、餘城シヤモツ  
▼女工二十名 通勤 通勤者十名  
平市堂、新、大阪造船

新刊紹介

「東京ロマンス」  
E・ホプワイト著  
UP特派員として著名なアーン  
ト・ホプワイト氏の新作小説で  
あり、戦後の日本を舞台に外國人  
によつて書かれた小説としては最  
初のものである。氏は本年廿九歳  
の獨身青年である。ケム島から  
日本へ一校の日本記者の胸の  
プロバインドが報章記者の胸の  
結ぶ戀の直線に至るスリルミロ  
ンス。國際結婚への倫理と道徳と  
が糾纏に浮彫りされてゐる  
(B6二九頁、十八圓、初版  
ヤマト社)

資本金入門

河上肇著  
故河上肇博士の遺著の貴重な一  
である。巻頭の序文に「この著書  
は私が公にして来た最後のもので  
あり、又半生にわたる研究の結果を  
集めたものである。昭和七年十一月  
に私は已に日本共産黨員として地  
下に潜伏してゐたのであるから、  
是は私が意を決して黨員になり得  
た時の思想上の姿とも云へる」と  
記されてゐる。資本論を學べん  
とする人々の必讀の入門書  
(B6二九頁、十八圓、初版  
世界評論社)

就職案内

平働所署より  
▼女中一名 十六、二十歳 國  
月五、十歳 横越小路阿部政衛門  
▲夫男八十名 不問 二十五  
三十歳位 七、三時半 電氣修  
接工十五名 經驗工、副負制 五  
百圓位 ▼ガス格接工十五名  
職男三十名 經驗工、配管工  
三十名 至急 ▼銀治工男十名  
通勤者二名 小名濱町西町三十  
七、金子健  
▼女工五名 十八、四十歳  
▼女工五名 十六、四十歳 國  
卒 通勤 給面談 通勤手当サ  
給ス、赤井藤前、餘城シヤモツ  
▼女工二十名 通勤 通勤者十名  
平市堂、新、大阪造船

新刊紹介

「東京ロマンス」  
E・ホプワイト著  
UP特派員として著名なアーン  
ト・ホプワイト氏の新作小説で  
あり、戦後の日本を舞台に外國人  
によつて書かれた小説としては最  
初のものである。氏は本年廿九歳  
の獨身青年である。ケム島から  
日本へ一校の日本記者の胸の  
プロバインドが報章記者の胸の  
結ぶ戀の直線に至るスリルミロ  
ンス。國際結婚への倫理と道徳と  
が糾纏に浮彫りされてゐる  
(B6二九頁、十八圓、初版  
ヤマト社)

就職案内

平働所署より  
▼女中一名 十六、二十歳 國  
月五、十歳 横越小路阿部政衛門  
▲夫男八十名 不問 二十五  
三十歳位 七、三時半 電氣修  
接工十五名 經驗工、副負制 五  
百圓位 ▼ガス格接工十五名  
職男三十名 經驗工、配管工  
三十名 至急 ▼銀治工男十名  
通勤者二名 小名濱町西町三十  
七、金子健  
▼女工五名 十八、四十歳  
▼女工五名 十六、四十歳 國  
卒 通勤 給面談 通勤手当サ  
給ス、赤井藤前、餘城シヤモツ  
▼女工二十名 通勤 通勤者十名  
平市堂、新、大阪造船

新刊紹介

「東京ロマンス」  
E・ホプワイト著  
UP特派員として著名なアーン  
ト・ホプワイト氏の新作小説で  
あり、戦後の日本を舞台に外國人  
によつて書かれた小説としては最  
初のものである。氏は本年廿九歳  
の獨身青年である。ケム島から  
日本へ一校の日本記者の胸の  
プロバインドが報章記者の胸の  
結ぶ戀の直線に至るスリルミロ  
ンス。國際結婚への倫理と道徳と  
が糾纏に浮彫りされてゐる  
(B6二九頁、十八圓、初版  
ヤマト社)

資本金入門

河上肇著  
故河上肇博士の遺著の貴重な一  
である。巻頭の序文に「この著書  
は私が公にして来た最後のもので  
あり、又半生にわたる研究の結果を  
集めたものである。昭和七年十一月  
に私は已に日本共産黨員として地  
下に潜伏してゐたのであるから、  
是は私が意を決して黨員になり得  
た時の思想上の姿とも云へる」と  
記されてゐる。資本論を學べん  
とする人々の必讀の入門書  
(B6二九頁、十八圓、初版  
世界評論社)

就職案内

平働所署より  
▼女中一名 十六、二十歳 國  
月五、十歳 横越小路阿部政衛門  
▲夫男八十名 不問 二十五  
三十歳位 七、三時半 電氣修  
接工十五名 經驗工、副負制 五  
百圓位 ▼ガス格接工十五名  
職男三十名 經驗工、配管工  
三十名 至急 ▼銀治工男十名  
通勤者二名 小名濱町西町三十  
七、金子健  
▼女工五名 十八、四十歳  
▼女工五名 十六、四十歳 國  
卒 通勤 給面談 通勤手当サ  
給ス、赤井藤前、餘城シヤモツ  
▼女工二十名 通勤 通勤者十名  
平市堂、新、大阪造船

新刊紹介

「東京ロマンス」  
E・ホプワイト著  
UP特派員として著名なアーン  
ト・ホプワイト氏の新作小説で  
あり、戦後の日本を舞台に外國人  
によつて書かれた小説としては最  
初のものである。氏は本年廿九歳  
の獨身青年である。ケム島から  
日本へ一校の日本記者の胸の  
プロバインドが報章記者の胸の  
結ぶ戀の直線に至るスリルミロ  
ンス。國際結婚への倫理と道徳と  
が糾纏に浮彫りされてゐる  
(B6二九頁、十八圓、初版  
ヤマト社)

資本金入門

河上肇著  
故河上肇博士の遺著の貴重な一  
である。巻頭の序文に「この著書  
は私が公にして来た最後のもので  
あり、又半生にわたる研究の結果を  
集めたものである。昭和七年十一月  
に私は已に日本共産黨員として地  
下に潜伏してゐたのであるから、  
是は私が意を決して黨員になり得  
た時の思想上の姿とも云へる」と  
記されてゐる。資本論を學べん  
とする人々の必讀の入門書  
(B6二九頁、十八圓、初版  
世界評論社)

就職案内

平働所署より  
▼女中一名 十六、二十歳 國  
月五、十歳 横越小路阿部政衛門  
▲夫男八十名 不問 二十五  
三十歳位 七、三時半 電氣修  
接工十五名 經驗工、副負制 五  
百圓位 ▼ガス格接工十五名  
職男三十名 經驗工、配管工  
三十名 至急 ▼銀治工男十名  
通勤者二名 小名濱町西町三十  
七、金子健  
▼女工五名 十八、四十歳  
▼女工五名 十六、四十歳 國  
卒 通勤 給面談 通勤手当サ  
給ス、赤井藤前、餘城シヤモツ  
▼女工二十名 通勤 通勤者十名  
平市堂、新、大阪造船

新刊紹介

「東京ロマンス」  
E・ホプワイト著  
UP特派員として著名なアーン  
ト・ホプワイト氏の新作小説で  
あり、戦後の日本を舞台に外國人  
によつて書かれた小説としては最  
初のものである。氏は本年廿九歳  
の獨身青年である。ケム島から  
日本へ一校の日本記者の胸の  
プロバインドが報章記者の胸の  
結ぶ戀の直線に至るスリルミロ  
ンス。國際結婚への倫理と道徳と  
が糾纏に浮彫りされてゐる  
(B6二九頁、十八圓、初版  
ヤマト社)

就職案内

平働所署より  
▼女中一名 十六、二十歳 國  
月五、十歳 横越小路阿部政衛門  
▲夫男八十名 不問 二十五  
三十歳位 七、三時半 電氣修  
接工十五名 經驗工、副負制 五  
百圓位 ▼ガス格接工十五名  
職男三十名 經驗工、配管工  
三十名 至急 ▼銀治工男十名  
通勤者二名 小名濱町西町三十  
七、金子健  
▼女工五名 十八、四十歳  
▼女工五名 十六、四十歳 國  
卒 通勤 給面談 通勤手当サ  
給ス、赤井藤前、餘城シヤモツ  
▼女工二十名 通勤 通勤者十名  
平市堂、新、大阪造船

新刊紹介

「東京ロマンス」  
E・ホプワイト著  
UP特派員として著名なアーン  
ト・ホプワイト氏の新作小説で  
あり、戦後の日本を舞台に外國人  
によつて書かれた小説としては最  
初のものである。氏は本年廿九歳  
の獨身青年である。ケム島から  
日本へ一校の日本記者の胸の  
プロバインドが報章記者の胸の  
結ぶ戀の直線に至るスリルミロ  
ンス。國際結婚への倫理と道徳と  
が糾纏に浮彫りされてゐる  
(B6二九頁、十八圓、初版  
ヤマト社)

資本金入門

河上肇著  
故河上肇博士の遺著の貴重な一  
である。巻頭の序文に「この著書  
は私が公にして来た最後のもので  
あり、又半生にわたる研究の結果を  
集めたものである。昭和七年十一月  
に私は已に日本共産黨員として地  
下に潜伏してゐたのであるから、  
是は私が意を決して黨員になり得  
た時の思想上の姿とも云へる」と  
記されてゐる。資本論を學べん  
とする人々の必讀の入門書  
(B6二九頁、十八圓、初版  
世界評論社)

就職案内

平働所署より  
▼女中一名 十六、二十歳 國  
月五、十歳 横越小路阿部政衛門  
▲夫男八十名 不問 二十五  
三十歳位 七、三時半 電氣修  
接工十五名 經驗工、副負制 五  
百圓位 ▼ガス格接工十五名  
職男三十名 經驗工、配管工  
三十名 至急 ▼銀治工男十名  
通勤者二名 小名濱町西町三十  
七、金子健  
▼女工五名 十八、四十歳  
▼女工五名 十六、四十歳 國  
卒 通勤 給面談 通勤手当サ  
給ス、赤井藤前、餘城シヤモツ  
▼女工二十名 通勤 通勤者十名  
平市堂、新、大阪造船

新刊紹介

「東京ロマンス」  
E・ホプワイト著  
UP特派員として著名なアーン  
ト・ホプワイト氏の新作小説で  
あり、戦後の日本を舞台に外國人  
によつて書かれた小説としては最  
初のものである。氏は本年廿九歳  
の獨身青年である。ケム島から  
日本へ一校の日本記者の胸の  
プロバインドが報章記者の胸の  
結ぶ戀の直線に至るスリルミロ  
ンス。國際結婚への倫理と道徳と  
が糾纏に浮彫りされてゐる  
(B6二九頁、十八圓、初版  
ヤマト社)

資本金入門

河上肇著  
故河上肇博士の遺著の貴重な一  
である。巻頭の序文に「この著書  
は私が公にして来た最後のもので  
あり、又半生にわたる研究の結果を  
集めたものである。昭和七年十一月  
に私は已に日本共産黨員として地  
下に潜伏してゐたのであるから、  
是は私が意を決して黨員になり得  
た時の思想上の姿とも云へる」と  
記されてゐる。資本論を學べん  
とする人々の必讀の入門書  
(B6二九頁、十八圓、初版  
世界評論社)

就職案内

平働所署より  
▼女中一名 十六、二十歳 國  
月五、十歳 横越小路阿部政衛門  
▲夫男八十名 不問 二十五  
三十歳位 七、三時半 電氣修  
接工十五名 經驗工、副負制 五  
百圓位 ▼ガス格接工十五名  
職男三十名 經驗工、配管工  
三十名 至急 ▼銀治工男十名  
通勤者二名 小名濱町西町三十  
七、金子健  
▼女工五名 十八、四十歳  
▼女工五名 十六、四十歳 國  
卒 通勤 給面談 通勤手当サ  
給ス、赤井藤前、餘城シヤモツ  
▼女工二十名 通勤 通勤者十名  
平市堂、新、大阪造船

新刊紹介

「東京ロマンス」  
E・ホプワイト著  
UP特派員として著名なアーン  
ト・ホプワイト氏の新作小説で  
あり、戦後の日本を舞台に外國人  
によつて書かれた小説としては最  
初のものである。氏は本年廿九歳  
の獨身青年である。ケム島から  
日本へ一校の日本記者の胸の  
プロバインドが報章記者の胸の  
結ぶ戀の直線に至るスリルミロ  
ンス。國際結婚への倫理と道徳と  
が糾纏に浮彫りされてゐる  
(B6二九頁、十八圓、初版  
ヤマト社)

就職案内

平働所署より  
▼女中一名 十六、二十歳 國  
月五、十歳 横越小路阿部政衛門  
▲夫男八十名 不問 二十五  
三十歳位 七、三時半 電氣修  
接工十五名 經驗工、副負制 五  
百圓位 ▼ガス格接工十五名  
職男三十名 經驗工、配管工  
三十名 至急 ▼銀治工男十名  
通勤者二名 小名濱町西町三十  
七、金子健  
▼女工五名 十八、四十歳  
▼女工五名 十六、四十歳 國  
卒 通勤 給面談 通勤手当サ  
給ス、赤井藤前、餘城シヤモツ  
▼女工二十名 通勤 通勤者十名  
平市堂、新、大阪造船

新刊紹介

「東京ロマンス」  
E・ホプワイト著  
UP特派員として著名なアーン  
ト・ホプワイト氏の新作小説で  
あり、戦後の日本を舞台に外國人  
によつて書かれた小説としては最  
初のものである。氏は本年廿九歳  
の獨身青年である。ケム島から  
日本へ一校の日本記者の胸の  
プロバインドが報章記者の胸の  
結ぶ戀の直線に至るスリルミロ  
ンス。國際結婚への倫理と道徳と  
が糾纏に浮彫りされてゐる  
(B6二九頁、十八圓、初版  
ヤマト社)

資本金入門

河上肇著  
故河上肇博士の遺著の貴重な一  
である。巻頭の序文に「この著書  
は私が公にして来た最後のもので  
あり、又半生にわたる研究の結果を  
集めたものである。昭和七年十一月  
に私は已に日本共産黨員として地  
下に潜伏してゐたのであるから、  
是は私が意を決して黨員になり得  
た時の思想上の姿とも云へる」と  
記されてゐる。資本論を學べん  
とする人々の必讀の入門書  
(B6二九頁、十八圓、初版  
世界評論社)

就職案内

平働所署より  
▼女中一名 十六、二十歳 國  
月五、十歳 横越小路阿部政衛門  
▲夫男八十名 不問 二十五  
三十歳位 七、三時半 電氣修  
接工十五名 經驗工、副負制 五  
百圓位 ▼ガス格接工十五名  
職男三十名 經驗工、配管工  
三十名 至急 ▼銀治工男十名  
通勤者二名 小名濱町西町三十  
七、金子健  
▼女工五名 十八、四十歳  
▼女工五名 十六、四十歳 國  
卒 通勤 給面談 通勤手当サ  
給ス、赤井藤前、餘城シヤモツ  
▼女工二十名 通勤 通勤者十名  
平市堂、新、大阪造船

新刊紹介

「東京ロマンス」  
E・ホプワイト著  
UP特派員として著名なアーン  
ト・ホプワイト氏の新作小説で  
あり、戦後の日本を舞台に外國人  
によつて書かれた小説としては最  
初のものである。氏は本年廿九歳  
の獨身青年である。ケム島から  
日本へ一校の日本記者の胸の  
プロバインドが報章記者の胸の  
結ぶ戀の直線に至るスリルミロ  
ンス。國際結婚への倫理と道徳と  
が糾纏に浮彫りされてゐる  
(B6二九頁、十八圓、初版  
ヤマト社)

資本金入門

河上肇著  
故河上肇博士の遺著の貴重な一  
である。巻頭の序文に「この著書  
は私が公にして来た最後のもので  
あり、又半生にわたる研究の結果を  
集めたものである。昭和七年十一月  
に私は已に日本共産黨員として地  
下に潜伏してゐたのであるから、  
是は私が意を決して黨員になり得  
た時の思想上の姿とも云へる」と  
記されてゐる。資本論を學べん  
とする人々の必讀の入門書  
(B6二九頁、十八圓、初版  
世界評論社)

就職案内

平働所署より  
▼女中一名 十六、二十歳 國  
月五、十歳 横越小路阿部政衛門  
▲夫男八十名 不問 二十五  
三十歳位 七、三時半 電氣修  
接工十五名 經驗工、副負制 五  
百圓位 ▼ガス格接工十五名  
職男三十名 經驗工、配管工  
三十名 至急 ▼銀治工男十名  
通勤者二名 小名濱町西町三十  
七、金子健  
▼女工五名